

製品名: ATP5F1A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82751**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	59.8kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP5F1A
別名	OMR; ORM; ATPM; MOM2; ATP5A; hATP1; ATP5A1; MC5DN4; ATP5AL2; COXPD22; HEL-S-123m
遺伝子 ID	498.0
SwissProt ID	P25705
免疫原	大腸菌で発現したヒト ATP5F1A (AA: 44-220) の精製された組み換え断片。

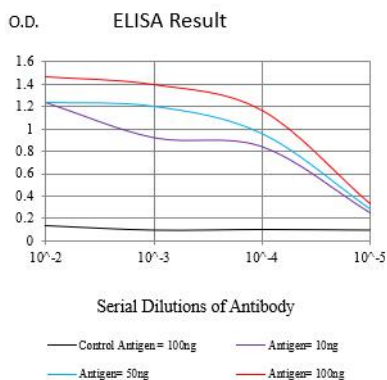
背景

この遺伝子は、ミトコンドリア ATP 合成酵素のサブユニットをコードします。ミトコンドリア ATP 合成酵素は、酸化的リン酸化反応

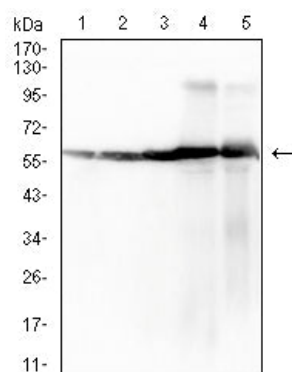
中に内膜を横切る電気化学的プロトン勾配を利用して ATP 合成を触媒します。ATP 合成酵素は、可溶性触媒コアである F1 と、プロトンチャンネルを構成する膜貫通成分である Fo という、2つの連結した多サブユニット複合体で構成されています。ミトコンドリア ATP 合成酵素の触媒部分は、5つの異なるサブユニット (α 、 β 、 γ 、 δ 、 ϵ) で構成され、 α サブユニット3個、 β サブユニット3個、および他の3つのサブユニットを代表する1個という化学量論で組み立てられています。プロトンチャンネルは3つの主要なサブユニット (a、b、c) で構成されています。この遺伝子は、触媒コアの α サブユニットをコードします。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。この遺伝子の擬似遺伝子は、9番、2番、16番染色体上に位置しています。

研究分野

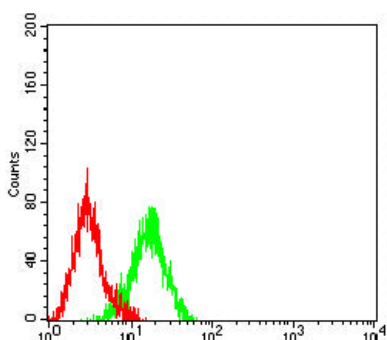
画像データ



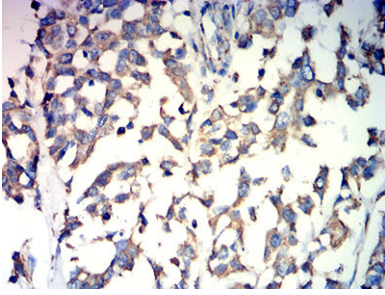
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



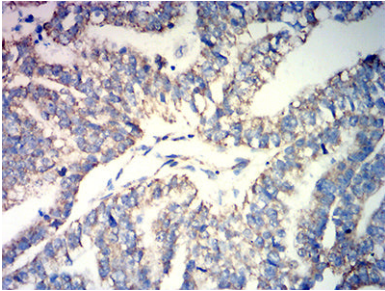
HepG2 (1) 、HeLa (2) 、HCT116 (3) 、マウス心臓 (4) 、およびラット心臓 (5) 細胞溶解物に対する ATP5F1A マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



ATP5F1A マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



ATP5F1A マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。



ATP5F1A マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。